

令和5年度の重点課題

・男女「握力」「50m走」「ボール投げ」及び男子「20mシャトルラン」において、平均を下回っている児童が多い。

・2年生以上において前年度と比較して判定が現状維持、もしくは向上した児童は63%であった。

・一日に体を動かす時間が30分未満の児童が3分の1を超える。また、2学年で半数を上回っている。

・約1割の児童が、授業以外で運動やスポーツに取り組む機会が週1回を下回っている。

・運動やスポーツが好きかに対しては94%の児童が肯定的に回答しているが、スポーツを見たり応援したりすることが好きな児童は75%にとどまった。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- ・準備運動に加え、その単元に合った体力向上の運動を継続して行った。
- ・体育の前の切小サーキットにペットボトルシャトルを投げる運動を加えた。ボール運動の単元を中心に、投げる力を高めたり、投げる機会を増やしたりする工夫を行った。
- ・児童が授業の見通しを持ち主体的に学べるようにするとともに、授業内での運動量を確保できるように授業改善を行った。
- ・業間運動を継続し、行事等に合わせて時期ごとに内容を組み替え、児童がめあてをもって取り組めるようにした。
- ・休憩時間に外に出る機会を増やせるよう、業間運動の時間を大休憩のはじめに変更した。
- ・3分間一輪車を行い、めあてを持って技能を高められるようにした。またその中で、他学年と関わったり達成感を味わったりすることで、体力向上の喜びを感じられるようにした。

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	21.00	30.00	31.67	50.33	66.33	8.50	183.00	36.33	68.00	第5学年	18.50	25.75	37.75	42.25	38.00	9.98	157.00	17.50	61.67

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	21.00	30.00	31.67	50.33	66.33	8.50	183.00	36.33	68.00	第5学年	18.50	25.75	37.75	42.25	38.00	9.98	157.00	17.50	61.67

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00	第5学年	75.00	25.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

	運動やスポーツをすることは好きですか		スポーツを見たり応援したりすることは好きですか		自分や目標を立てて、体力づくりやスポーツに取り組んでいますか	
	肯定的	否定的	肯定的	否定的	肯定的	否定的
1学年	90%	10%	50%	50%	80%	20%
2学年	100%	0%	89%	11%	79%	21%
3学年	86%	14%	100%	0%	85%	15%
4学年	75%	25%	76%	24%	88%	12%
5学年	100%	0%	57%	43%	86%	14%
6学年	100%	0%	100%	0%	100%	0%
全学年	92%	8%	78%	22%	85%	15%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・児童が運動の特性や楽しさを味わえる授業づくりを行う。また、外部講師を活用したり運動の多様な価値を感じられるような授業づくりをし、豊かなスポーツライフに繋げることを意識する。
- ・体育科の授業の中で、授業の流れを視覚化する、カードを活用するなど、児童が授業の見通しを持ち主体的に学べるようにするとともに、授業内での運動量を確保できるように授業改善を引き続き行う。
- ・準備運動に加え、その単元に合った体力向上の運動や柔軟運動を、継続して行う。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・「チャレンジ10」を紹介し、体幹強化や柔軟性向上の運動に継続して取り組めるようにする。
- ・委員会で体力向上や外遊びの励行、体育的行事に向けた取組を行い、児童が主体的に体力づくりや外遊びに取り組めるようにする。

重点課題

情意面での課題

- ・運動やスポーツ、体育の授業はことが好きな児童は92%であったが、運動やスポーツを見たり応援したりすることが好きな児童は78%にとどまった。
- ・自分で目標を立て、体力づくりやスポーツに取り組めたいない

体力面での課題

- ・男子「長座体前屈」「シャトルラン」において、昨年度より得点を伸ばした児童が半数を下回った。
- ・女子「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」において、昨年度より得点を伸ばした児童が半数を下回った。
- ・体育の授業以外の運動時間が30分を下回る児童が約3割いた。
- ・運動やスポーツに取り組む機会が週1回以下の児童が18%いた。

令和6年度の重点目標値

- 体を動かすことやスポーツをの楽しさが「ある」と答える児童の割合(する、支える、見る...などから選択)を、80%以上にする。
- 体育の授業を除く1週間の総運動量が、60分以上の児童の割合を、80%以上にする。
- 運動やスポーツに取り組む機会が週1回以下の児童を0%にする。
- 新体力テストにおいて、前回と比べて判定が現状維持、もしくは向上した児童の割合を70%以上にする。